

令和4年度 自己評価結果公表シート

大王谷幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園の目標 子供の「自立」と「共生」の心を育む ○上記目標達成のために 「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める
--

2. 本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した幼稚園評価の具体的な目標や計画

<p>重点的に取り組むことを目標にした幼稚園評価の具体的な目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動する教育の充実に努める。 2. 規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。 3. 幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。 4. 安心して安全な幼稚園を保障するための取り組みに努める。 5. 幼稚園と小学校との連携を推進する。 6. 地域交流、異世代間交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。
--

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1)教育活動の充実	B	戸外での活動は、各学年日々生活の一部として遊びの充実に努めてきたが、主体性を持った遊びの充実に振り返ると、教師側の見直しを持った計画・環境構成等、課題が残る取り組みであった。
(2)道徳指導等の充実	B	子ども同士のトラブルや心の育ちについて、職員間やクラス、園全体で話し合う場を大切にしている。教師もすぐに答えを伝えるのではなく、自分で考え、気付ける言葉掛けや関わりを心掛けてきた。
(3)基本的な生活習慣	A	衣服の着脱や整理整頓、片付け等、繰り返し各年齢として押さえる場面を繰り返し関わりながら習慣化につながっている。個人差はあるが、家庭との連携は継続していきたい。
(4)安心して安全な幼稚園	A	毎朝の掃除の中で、園内の点検を兼ねて職員が目を確認を行う。常に、予測として「もしかしたら」の意識での行動と、ひと声で防げる怪我防止は日々心掛けていきたい。
(5)小学校との連携	B	年長児は、1年生の授業参観する機会や交流会に参加をさせて頂いた。2月には情報交換会を開きスムーズな就学に向けて連携を図っているが、子どもたちの育ちや情報の共有の引継ぎを改善していく必要がある。
(6)豊かな交流体験の充実	B	コロナ禍の中で、なかなか計画できなかったこともあるが、園内での異年齢交流や、地域とのつながりある活動はまた少しずつ幅を持たせて計画をしていきたい。

4. 幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
B	目指したい子ども達の姿・育ちについての目標は、各年齢・園としても明確であったが、そこに対しての手立てや教師側の指導すべき視点の見方が共有できていないことは、総合的に反省すべき点であった。引き続き全職員で教育目標を振り返る時間を設け、細かな共通理解を図りながら、主体性を持った保育の質の向上を目指していきたい。

◎「3、4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

評価項目	課題と具体的な取組方法
(1)教育活動の充実	学年間で子ども達の姿を振り返り、評価・反省・情報共有を行いながら、繋がりのある保育を再度基本としていく。
(2)道徳指導等の充実	その場の状況を捉えていきながら、自ら考えて行動に移すことや、引き続き全体集会やクラスで考える時間を大切にしていく。
(3)基本的な生活習慣	日々、一人ひとりの姿を捉え、繰り返し丁寧な関わりの中で、年齢に応じた姿も見守りながら関わりを持つ。
(4)安心して安全な幼稚園	避難訓練では保護者の方と共有できるよう参観日等で計画していく。引き続き園内で起きた怪我等は全職員で共有し大きな事故に繋げないようにする。
(5)小学校との連携	幼稚園から小学校に訪問だけではなく、小学校から幼稚園に来園して頂き、園の現状を知ってもらい、より深い連携を図る機会を検討していく。
(6)豊かな交流体験の充実	地域との交流の場を園内で話し合い、計画できることから取り入れていく。地域を知る機会も工夫する必要がある。